

株主優待のご案内

株主の皆様へ、日頃のご支援に感謝をこめて、また当社事業へのご理解を一層深めていただくために、玄品をお楽しみいただける「優待券」を進呈させていただきます。

■進呈基準

保有株数(3月末日・9月末日)	優待内容
100株(1単元)以上300株(3単元)未満	2,000円 ご優待券1枚
300株(3単元)以上600株(6単元)未満	2,000円 ご優待券2枚
600株(6単元)以上1,000株(10単元)未満	2,000円 ご優待券4枚
1,000株(10単元)以上	2,000円 ご優待券6枚

■進呈時期(毎年6月下旬、12月下旬の年2回)

■優待内容(店舗でのご利用の場合)

◎優待券は「4,000円(税込)以上のコース」でのみ2,000円(税込)の割引としてご利用いただけます。

また、優待券は1コースで1枚のみのご利用となります。

◎日本国内の店舗のみでご利用いただけます。

◎テイクアウト可能な対象コースの場合にもご利用いただけます。

【北海道】札幌すすきの【東京都】浅草/池袋/上野/大森山王/神楽坂/蒲田/亀戸/吉祥寺/銀座一丁目/銀座新橋/国分寺/品川大井町/渋谷/新宿三丁目/新宿南/竹ノ塚/千歳鳥山/中野/西葛西/練馬【千葉県】浦安/柏/千葉/本八幡【埼玉県】浦和/大宮/川口/南越谷【神奈川県】青葉台/あざみ野/大船/川崎/桜木町/本厚木/南林間/横浜/横浜中華街【長野県】善光寺口【愛知県】名古屋錦本町【大阪府】池田/茨木/大阪梅田東通/大阪北新地/北梅田/楠葉/塚天神/新大阪/心斎橋/吹田/天満/難波/法善寺総本店/本町/守口/八尾【三重県】四日市【京都府】京都祇園【兵庫県】伊丹/神戸三宮北野坂/塚口/阪神尼崎【広島県】広島紙屋町(2023年6月現在)

お取寄せのご利用およびご優待内容の詳細につきましては、株主様宛に郵送のパンフレット「株主様ご優待券のご案内」をご確認ください。

玄品ショッピングサイト
https://www.genpinfugu.com

会社概要

株式会社 關門海 KANMONKAI Co.,Ltd.

創業 1980年9月

設立 1989年5月 株式会社さかな亭(現:株式会社関門海)を設立

資本金 1,000万円

従業員数 134名(2023年3月31日現在)グループ合計

所在地 【本社】〒580-0041 大阪府松原市三宅東1丁目8番7号

TEL：072-349-0029 FAX：072-349-0023

【東京支社】〒110-0005 東京都台東区上野二丁目1番6号 5F

TEL：03-5816-8129 FAX：03-5816-8130

上場市場 東京証券取引所スタンダード市場(3372)

※2022年4月4日より、東京証券取引所スタンダード市場へ移行しております。

URL https://www.kanmonkai.co.jp

役員 代表取締役社長 山口 久美子

取締役 大村 美智也

社外取締役 松下 義行

常勤監査役 阿井 公宗

社外監査役 近藤 行弘

社外監査役 小田 利昭

子会社・関連会社

株式会社 関門食品 (大阪府松原市)

関門海(上海)貿易有限公司(中国上海市)

上海玄品餐飲管理有限公司(中国上海市)

KANMONKAI-SG PTE.LTD.(シンガポール)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 毎年3月31日

株式の売買単位 100株

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

同連絡先 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

TEL：0120-288-324

公告方法 電子公告による(https://www.kanmonkai.co.jp)

但し電子公告を行えない場合は、日本経済新聞に掲載する。

株式会社 關門海

第35期 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

当期の業績につきまして、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが活発化する中、外食需要も回復基調にあり、「玄品」店舗においては、一時的な感染者数の増加に伴う客数の減少はありましたが、インバウンド旅行者や団体利用のお客様も増加しており、うなぎや高品質な天然とらふぐの販売、新商品として投入した「らぁ麺」等により売上は回復傾向にあります。

また、本部において取り組んでおりました小売り・流通業界への販売先の開拓も徐々に結実しており、販売量の増加に備えた生産体制の強化を進めております。

これらの結果、当期の売上高は4,210百万円となり、店舗売上増加に加え原価率改善等により売上総利益は2,795百万円となりました。原価販売費及び一般管理費については、人件費やエネルギーコスト上昇等による上昇と、売上高増加による変動により増加いたしました。徹底したコストの見直し、本部費の圧縮などに努め、前期比較の売上比率は21%改善いたしました。

以上の結果、営業利益は54百万円、経常利益については、助成金収入等があった事により65百万円となりました。

今後に関しましては、当社グループ事業をさらに磨き上げ、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に取り組む、うなぎ販売の強化や、外販及び通販事業をさらに伸ばし業績の改善を図りまして財務基盤の強化に努め、株主の皆様のご期待に添えるよう精進して参りますので、引き続き暖かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

株式会社 關門海 代表取締役社長

山口 久美子

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約) (単位:百万円)

資産の部	当連結会計年度 (2023.3.31現在)	前連結会計年度 (2022.3.31現在)
流動資産	4,001	3,436
固定資産	858	904
有形固定資産	477	523
無形固定資産	18	22
投資その他の資産	362	357
資産合計	4,860	4,341

流動負債	3,831	3,406
固定負債	455	568
負債合計	4,286	3,974

株主資本	572	366
資本金	10	1,171
資本剰余金	656	493
利益剰余金	194	△ 1,009
自己株式	△ 287	△ 287
新株予約権	0	1
純資産合計	573	366
負債・純資産合計	4,860	4,341

※2022年6月24日開催の第34期定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少に関する議案を決議し、資本金の額が1,161百万円、資本準備金の額が493百万円減少し、合計額の1,654百万円その他資本剰余金が増加しております。また、資本金及び資本準備金振替後のその他資本剰余金998百万円を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の欠損を填補いたしました。

連結損益計算書(要約) (単位:百万円)

	当期(2023年3月期)	前期(2022年3月期)
売上高	4,210	2,603
売上原価	1,414	1,077
売上総利益	2,795	1,526
営業利益	54	△ 715
親会社株主に帰属する当期純利益	206	0

連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位:百万円)

	当期(2023年3月期)	前期(2022年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,136	293
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 22	△ 23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1	25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,114	299
現金及び現金同等物の期末残高	2,810	1,695

株式の状況 2023年3月31日現在

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	13,698,833株
株主数	16,210人

※自己株式302,067株を除く

大株主の状況(上位10名) 小数点第3位以下四捨五入

株主名	持株数	持株比率
株式会社椿台	3,344,500	24.41%
サンリー株式会社	1,178,100	8.60%
尾家産業株式会社	370,000	2.70%
田原 久美子	239,500	1.75%
関門海福株会	91,300	0.67%
鈴木 富美子	87,600	0.64%
山口 旺子	51,950	0.38%
山口 晴緒	51,950	0.38%
小野 秀昭	50,800	0.37%
鈴木 良太郎	34,600	0.25%
合計	5,500,300	40.15%
発行済み株式総数	13,698,833	100.00%

(注)当社は自己株式302,067株(所有割合2.16%)を保有しておりますが、上記大株主様の状況には含めておりません。



とらふぐは夏でも楽しめる!“メキシカーノ夏安居”

NEWS TOPICS

TOPICS

1

夏場の柱として期待の「鰻」は急成長!

昨年から販売を開始した鰻料理は7月の“土用丑”を中心に好調に推移しました。店内以外でも「Uber Eats」や「出前館」といったデリバリーとの相性も良く新たな収益源として著しい成長を遂げています。また、通販事業で鰻セットが人気となり、出品した百貨店の父の日ギフト特集でも海鮮商品で唯一、有名菓子と並んで人気ランキング上位に紹介されました。夏場の新たな柱として、店内メニューと併せて販売を一層強化してまいります。



TOPICS

3

玄品×淡路屋 コラボ「駅弁」が登場!

1903年創業で弁当業界のパイオニアである株式会社 淡路屋とコラボし、まず第1弾として2023年3月29日から関西JR各駅の他、淡路屋店舗にて「大阪名物 ふぐ尽くし」駅弁を販売。ふぐ西京焼きや、ふぐ入り団子など5種類のふぐ料理が楽しめることもあり、好評につき増産も決定しました。2025年の大阪万博開催に向け、外食とともに中食市場等への新たな販売チャネルの開拓を一層図ってまいります。



TOPICS

2

日本のふぐ食文化を「玄品」から世界へ。

シンガポールでは、養殖ふぐの白子・ヒレ・皮の輸入が解禁されたことから、2023年1月に国際ふぐ協会による「ふぐ輸出促進イベント」に参画、シンガポール店を会場に地元のシェフやバイヤー、JETRO関係者の方などを招待して試食会を開催しました。また、同年1月には中国3号店となる「玄品 福州店」がオープン。現在まで堅調に推移しています。



TOPICS

4

玄品DX(デジタルトランスフォーメーション)

「玄品」店舗ではLINEの運用を開始し、導入前の約10倍のペースでお客様が会員に登録。現在ではLINEと予約管理システムを連動するなど、35%を超えるWEB予約を実現しています。一方、コールセンターによる予約状況の一元管理と予約システムの強化により、店舗社員の労働環境改善が図られ、会員データを活用したセグメント毎の施策の立案・実施も可能になりました。今後もIT技術による一層の業務効率化を図りながら、より満足度の高い食体験を提供してまいります。

